

令和6年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）

次 第

日時：令和6年6月28日（金）

14時00分～

場所：東温市役所4階 大会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議・報告事項

- （1）令和5年度事業報告及び計画の評価等について
- （2）地域内フィーダー系統確保維持に係る公共交通計画について
- （3）令和5年度歳入歳出決算報告について
- （4）地域公共交通利用促進事業支援業務(スタンプラリー)について
- （5）東温市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について
- （6）その他報告事項について

4. 閉会

<事前送付資料>

【資料1】令和5年度事業報告

【資料2】地域公共交通計画の評価等結果の様式

【資料3】地域内フィーダー系統確保維持に係る地域公共交通計画

【資料4】令和5年度歳入歳出決算報告

【資料5】地域公共交通利用促進事業支援業務(スタンプラリー)業務計画書（概要版）

【資料6】東温市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画

東温市地域公共交通活性化協議会(東温市地域公共交通会議)委員名簿

	団体	役職	委 員	備考
1	東温市	副市長	大石 秀輝	
2	株式会社伊予鉄グループ	取締役	竹中 由紀夫	代理:清水達郎
3	東温市タクシー連絡協議会	会長	和田 宏一	欠席
4	愛媛県バス協会	専務理事	松本 真一	欠席
5	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	谷口 政賀津	
6	国土交通省松山河川国道事務所	計画課長	森倉 遼太	代理:中尾正憲
7	愛媛県中予地方局	建設企画課長	清水 一博	
8	東温市産業建設部	部長	山本 一英	
9	東温市区長会	会長	池川 良徳	
10	東温市老人クラブ連合会	会長	東 正史	
11	東温市婦人会	会長	萩原 貴美子	
12	東温市PTA連合会	顧問	松本 司	欠席
13	東温市社会福祉協議会	会長	菅野 邦彦	
14	市民の代表(公募)		渡部 元衛	
15	市民の代表(公募)		横手 裕子	
16	松山南警察署	交通課長	堀田 大樹	
17	伊予鉄道労働組合	書記次長	藤本 孝	欠席
18	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務・企画担当)	山本 美恵子	
19	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	増田 輝彦	
20	愛媛県中予地方局	地域政策課長	小笠原 貴史	随付:本田智紀

【アドバイザー】香川高等専門学校	教授	宮崎 耕輔	欠席
------------------	----	-------	----

令和6年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時： 令和6年6月28日 14:00～15:30

会 場： 東温市役所 4階 大会議室

1. 開会

進 行： これより令和6年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会を開会する。

2. あいさつ

会 長： <挨拶>

3. 協議・報告事項

(1) 令和5年度事業報告及び計画の評価等について

事 務 局： <説明【資料1】>

<説明【資料2】>

会 長： ただいまの説明の中でみんなの公共交通を考える会の実績報告があったが、横手委員から補足説明はあるか。

横 手： 新型コロナウイルスが第5類となり、公募を始めている。しかし、現在コロナが増えているため東温市の広報のみとしているが、松山からの参加などもあり、需要はある。他の団体の方にも来て頂いて、年2回ほど滑川溪谷へ行った。景勝地は良いところも多いので、声掛けすると参加者は増えると思う。

会 長： 事業報告及び計画の評価等について、各委員から何か意見はないか。

横 手： スマホ体験教室について。参加者の年齢は。

事 務 局： 現在、参加者の情報は用意できていない。確認してお知らせさせて頂く。

横 手： 高齢の方が多いのか。

事 務 局： 高齢者のスマホ教室として行っている。

横 手： 参加者が公共交通を利用しているか、どのように移動しているか等、アンケートはとっているか。

事 務 局： おそらくとっていない。アンケートについては、今後の公共交通の役に立つため、参考にさせて頂く。

会 長： 他にご意見等はないか。

増 田： パーク＆ライド南方の利用が多いのはなぜか。

事 務 局： 本庁、支所については、土日のみ利用が可能であるが、南方は平日も利用可能。バス停の目の前ですぐにバスを利用できることもあり、定期的に停める方がいるので多くなっていると考えている。

増 田： 通勤の利用が多いのか。

事 務 局： そのとおりである。平日にも車が停まっている状況である。

増 田： 他のところは週末の利用となっているのか。

事 務 局： そのとおりである。

会 長： 他にご意見等はないか。

渡 部： 重信地区はバス、電車があり非常に便利だと感じる。山間路線の松瀬川地区の川上小学校に通う子供たちは行きは家から、帰りはバス停まで先生が来てくれるため、バスを利用することで通学の行き帰りが安全であると聞いている。少子高齢化の中で、バス路線をどういう風に利用するか。都市部の若い方は、特徴のある場所に住みたいという方も多いので、移住促進も考えながら、何かきっかけを作れないか。市民としてはバス路線がなくなれば不便である。バス路線を継続するために、自助、共助、公助を今後、1つ1つ形にしていければと考えている。

事 務 局： 今年は、そういった意味も含めて東温市が行っているイベントや街づくりに関連付けて、公共交通を使ったスタンプラリーを計画している。今年度の結果

等を踏まえて、来年度に計画の見直しも考えている。今後、街づくりと関連した公共交通の維持を検討していきたい。

会 長： 事業報告及び計画の評価等について国へ提出してよろしいか。

各 委 員： 《承認》

会 長： それでは、資料2の通り、国へ報告をさせて頂く。

（2）地域内フィーダー系統確保維持に係る公共交通計画について

事 務 局： <説明【資料3】>

会 長： ただいまの説明について、ご意見等ないか。

会 長： 特に、意見等ないようである。この案のとおり、国に申請をしてよろしいというご承認を頂けるか。

各 委 員： 《承認》

会 長： それでは、資料3の通り国へ提出する。

（3）令和5年度歳入歳出決算報告について

事 務 局： <説明【資料4】>

会 長： 続いて、監査結果の報告を萩原委員よりお願いしたい。

萩 原： 令和5年度東温市地域公共交通活性化協議会の会計事務について、監査したところ、適正に処理されていたことを報告する。

会 長： 決算報告について、質問等ないか。

会 長： 特にないようなので、決算報告についてご承認を頂けるか。

各 委 員： 《承認》

会 長： それでは、令和5年度歳入歳出決算報告を終える。

（４）地域公共交通利用促進事業支援業務（スタンプラリー）について

事務局： <説明【資料５】>

会長： ただいまの説明について何かご意見はあるか。

横手： 東温市内のタクシー会社は、川上タクシー、東温タクシー、見奈良タクシーの３社のみか。

事務局： 市内のタクシー事業者としては重信タクシーもある。ただ、タイミング的に協力は難しいとのことであったため、こちらの３社となっている。

横手： 重信タクシーから難しいとのことだったのか。

事務局： そのとおりである。

横手： 市内で入っていないタクシー事業者がいると気の毒だと思ったため、確認した。とても良い取り組みだと思う。利用してみようという気持ちになると思う。チラシの分かりにくさも良く、内容を熟読してもらえて見て頂くきっかけとなるのではないかと思う。賞品がもらえるのは効果的であるが、Ａ賞は高額であり、当選者を３名と少数にするよりも、たくさんの方に当選するようにした方がよいのではないかと個人としては感じている。私たちも大人にも参加して頂けるように声掛けをしていこうと思う。

菅野： 先程の資料の東温市全図の河之内線も、今回のチラシも黄色に赤という表示は非常に見にくい。もっと分かりやすく明度差をはっきりとしたものを作ってほしい。

事務局： 変更して実施する。

会長： 他に何かご意見はあるか。

会長： 広報が重要となるため、市民の皆様への周知を工夫して行っていく。
この件については以上とする。

（５）東温市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について

事務局： <説明【資料５】>

会 長： 委員から何かご意見はあるか。

渡 部： 申し訳ないが、資料が見えない。いろいろな資料があり、まとめるのは良いが、これを見て判断するのは難しい。もう少しページ数を増やすなどしてもらわないと細かい数字は見えない。会長からもお話があったが、もう少し工夫をして頂けないか。

会 長： 今後、委員に協議頂く中で参考資料になるため、大きく作成し直したものを再度送付して内容を見て頂くことで事務局はよろしいか。

事 務 局： 承知した。

会 長： 他に何かご意見はあるか。

中 尾： 5 ページの市民アンケートの結果の 2 番の鉄道に関して、居住地から最寄りの鉄道駅までにかかる時間が 30 分以上というのは、自動車を持っていない方の中でという意味か。それとも、全員に聞いた結果 30 分以上かかる方が、25% という結果となったのか。

事 務 局： 全員に聞いた結果である。

中 尾： 7 ページの 1) で鉄道付近にかなり住宅街が近いという印象があるが、それでも 1/4 の方は遠くに住まれているということか。

事 務 局： アンケートに答えて頂いている方の回答率に対しての結果である。

会 長： 他に何かご意見はあるか。

横 手： 公共交通が大事な乗り物として東温市のビジョンとして掲げられているということは良く分かった。私は、みんなの公共交通を考える会を 2005 年から活動しており、今頃の方は 80 歳までは、まだまだ元気であるが、85 歳くらいになるとやはりしんどくなり、バスやタクシーの利用を考えるようになる。会員さんも活動していると、亡くなったり、病気になったり、膝が痛くなったりしてくる。遊びに行くのにはお金は出せるが、日常生活で利用するには伊予鉄バスの運賃が高い。会員さんも気軽には乗りにくいと言われている。そのた

め、80歳までは元気な方が多いので、85歳くらいからは、東温市としてバス運賃の高騰に対して利用しやすいよう助成する何かを考えても良いのではないか。また、車に乗られる方は90歳くらいでも買い物くらいは車で行かれるが、足がない独居の方は膝が悪くなるとどうしようもなくなるので、タクシーやバスを利用するようになる。助成金を出すということになってはたくさんの方が使うようになるとは思わないので、たくさんのお金が必要にはならないと思う。そういうところも、市として今後検討していけば良いのではないかと思う。

パーク＆ライドも近いところまで乗るのは良いとして、離れたところの難しい運転をやめておくためにあるとも考えているので、そういうところも今後考えていかなければならないと思っている。また、人がいるところに誘導するという考えも分かるが、川内の方は中山間がある意味として、猿とか猪などが山間部に人がいるから降りてこないのではないかとはいきり分らないが考えさせられた。

事務局：事務局も高齢者の足をどうするかというところで、協議を重ねているので、意見は参考になった。今後も、そうした意見を踏まえて検討していきたいと考えている。

会長：他に何かご意見はあるか。

会長：それでは、この件については以上とする。

(6) その他報告事項について

会長：まず、四国運輸局の増田委員より公共交通の動向について報告頂ける内容があればお願いしたい。

増田：ライドシェアについて。日本版ライドシェアはタクシーが不足する地域、時間帯を補うために、タクシー事業者管理のもと、地域のドライバーを活用して自家用有償で提供するものである。今のところは、大都市圏中心に走っており、四国ではまだ導入されていない。大都市圏では、アプリのデータに基づいて、不足車両を算出して導入をしてきたところだが、地方では、アプリは普及していないので、簡易な方法で算出して、導入に取り組んでいる。事業者から以外にも、自治体の方からも特定の曜日、時間帯の申出があれば導入を進めていくことも可能であるが、タクシー事業者の協力がないと難しい。料金は通常のタクシーとは違い、運賃は事前に確定させておくようになっている。また、原則

キャッシュレスで、現金は使わない。

7月1日より雨の日の車両数不足について大都市圏で改善を進めており、今回の改善については、四国にはあまり関係ないところにはなるが、随時、問題点を解決しながら進めている現状である。

会 長： 最近の動向ということで、ライドシェアについてお話を頂いた。

会 長： 続いて、伊予鉄グループ清水様より、川内バスターミナルのEV設備についての説明をお願いしたい。

清 水： 川内バスターミナルの整備事業について。ようやく完成が7月中旬には仕上がり、8月初旬に竣工式を予定している。事業の概要は、充電器を2つ新設し、それに伴う高圧の電気を受ける受電設備も1つ新設する。それに合わせて、事業報告でもあったパーク＆ライドの駐車場の整備を行う。この近辺では、南方や支所にもあるが、営業所の一番奥に約20台の駐車場が完成する。時間、曜日の縛りはなく、24時間使用可能で、遠くに行く際は置いたままでも使用頂ける。駐輪場のサイクル＆ライドも整備を行っており、少しでもバスに乗って頂けるような環境を作っていこうと全国初の補助金の採択を受けて、東温市、国、伊予鉄で1/3ずつの負担をしている事業となる。また、待合室の美装や待合所の屋根をつけたり、利便性の向上によりターミナル機能の向上を図っている。施設が完成すると、川内線の配備しているバス8台のうち、6台がEV化し、75%となるため、全国的に見ても特異な路線になると考えている。

整備の事業は以上になるが、今の会社の現状や今後としては横手委員から厳しいご指摘もあった運賃についてはご理解頂きたいところもある。東温市だけでなく、かなりの方面から言われている。安くて、遠くまで行けて、便利が理想だが、それを続けてきた結果が現在の運転手不足である。長時間労働、給与が安いというイメージが根強く残っており、深刻な状態が続いている。また、運賃を下げると運転手の賃金の確保に困り、路線の廃止へとつながる悪循環を招きかねない。なんとか、今の路線を維持する為に、運賃に関してはご理解を頂きたいと考えている。今後は、山間の路線に関してもEVバスが走るようにしていきたい。

会 長： 伊予鉄グループの現状についてもお話し頂いた。

会 長： 続いて、事務局から報告等あるか。

事務局： 昨年度の協議会でもご報告させて頂いた地域検討組織「愛顔咲く よしい地域 街づくり協議会」について。よい地域における高齢者のフレイル防止、交通事故防止のため、オンデマンド交通構築を目的とした地域検討組織として活動している。東温市も検討会に参加したので、報告をさせて頂く。

65 歳以上の方 70 名にヒアリング調査をしたところ、おでかけ手段に困っている方が約 31%の 22 名存在しており、車やバイクといったおでかけ手段があっても、おでかけに困っている方が約 15%いる。また、全体としてはおでかけに満足している割合が高いものの、おでかけに困っている人においてはもっと出かけたいと思っている。この結果から、これらのおでかけを支援することで、おでかけウェルカム性の向上、各種フレイル予防、地産地消の促進の効果が期待できるとし、オンデマンド交通の検討を進められている。

事務局である東温市としては、「地域における移動手段導入マニュアル」に基づき、助言等を行うこととしているが、検討地域には既存の移動手段を含むことから、役割が重複しないよう十分な協議が必要と考えている。

会長： 3 件の報告事項に対して、ご質問等ないか。

会長： それでは、本日の協議事項は終了したので進行を事務局に返す。

4. 閉会

進行： それでは、以上で本会議を閉会する。